

# これから財政の話をしよう2012 part1

Section1: 財政ってなに？

Section2: 小金井市の財政概要

平成23年度決算を

平成22年度決算、24年度予算と比較して。

今日は先生が熱く  
お話しちゃうわよ～

今回は私、金井さくらが  
生徒です。よろしくね。



Section1 財政ってなに？

いまから財政の話を  
します。  
準備OK？

先生、これはサン〇ル教授の  
白熱教室のパクリですか？

リスペクトといいなさい。  
リスペクトと。

財政とは何でしょうか。

「税金を元に様々な  
行政活動を行うこと。」とか  
「国や地方公共団体がその活動の  
資金を調達し、管理処分すること」

とか、いろいろな説明が  
ありますが、

私は『みんなから集めたお金を  
みんなのために使う仕組み』  
という説明が気に入ってます。

みんなから集めたお金とは  
端的に言えば税金のこと  
です。



『みんなが使う』ものといえば  
どんなものが思い浮かびますか？



道路

ケータイ

コンビニ

学校

保育園

確かにコンビニは  
みんなが使いますが、  
そのためにみんなから  
税金を集めているわけでは  
ありません。

ケータイはみんなが使っていますが、  
みんなで共用しているわけでは  
ありませんし、そのための金は税金ではなく  
あなた方の親御さんが払っています。


コンビニやケータイはそれを使う人が  
払ったお金で成り立っています。

一方警察や消防が街を  
安全にすることで  
みんなが恩恵を  
受けられますが、  
その恩恵を受ける人から  
お金を取ることは  
できません。


高速道路以外の道路なんかもそうですね。

そのようなものを公的サービスとか  
行政サービスといいます。  
道路とか建物とか形のあるものは  
公共施設といたりします。







行政サービスを提供するにも  
公共施設を作るにも  
お金がかかります。  
これらのサービスを行うための  
お金を調達したり、配分したりするのが  
財政なのです。




確かに、一部の人しか使わない  
行政サービスはいろいろあるわ。  
学校もそうだし、生活保護も  
そうね。そういうものをみんなからの  
税金で市が行うのはどうしてだと思う？




行政サービスだから  
市がやらないと  
いけないんじゃないの？



使う人だけから  
お金を取ろうとすると  
高くなりすぎる  
からかな。



でも保育園とか  
高齢者の施設って、  
みんなが使うわけじゃ  
ないですよ。



みんなが文字を読める社会  
を作るためなんだから学校は  
やっぱりみんなのための  
ものだと思うよ。



ありがとう。

確かにみんなのためのサービスとはいえないものも行政サービスにはあります。でも長いで見れば、みんな最初は子供だし、

そのうち年寄りになります。病気や怪我をするかもしれないし、失業するかもしれない。そう考えると社会のセーフティーネットはみんなのためのサービスともいえます。

ということは理屈でわかって短期的に見れば、サービスの種類によってだれが恩恵を受けるかは大きく変わります。

なので、同じみんなのためといっても何にお金を使うのかについては、利害は一致しません。

ですからみんなから集めたお金の使い道を決めるのは大変に難しいことなのです。

昔であれば、王様が考えてお金を取って、使うところですが今は民主主義の世なので、みんなの意思を尊重して使い道を決めます。

全然王様にはみえないよ

でも実際に市民みんなが集まって話し合いをするわけにはいきません。



そこで選挙で市民の代表を選んで  
お金の使い道を決めます。

清き一票を!

市民の代表。すなわち市議会議員が  
議決して使い道を決めるのです。

実際にどうやって  
使い道を決めるのか  
について説明しましょう。

みんなから集めたお金は、  
「予算」により管理します。

予算、つまり、あらかじめ使い道を  
定めたものです。

この予算の案、すなわち予算案を  
市長が作り、議会がこれについて  
議論をし、議決します。

つまり市民の代表がOK  
しないとみんなから  
集めたお金は使えない  
仕組みになっています。

議会を構成する議員も  
予算案を作る市長も  
市民が投票する選挙で  
選ばれます。





図にすると  
こんな感じかしら

財政というと、何か難しくて  
どこか遠いところで決められている  
ように感じがありますが、  
選挙を通して私たちと  
つながっているのです。

ですから、みなさんも  
成人したら  
ちゃんと選挙に  
行ってくださいね。





# Section2 小金井市の財政



平成23年度の小金井市の決算が公表されました。

このホームページについて

結婚	出産・育児・健康
申請書・応募紙等	奨励・補助・手当など

現在のページ: 各課のページ / 会計管理 / 会計課 / 資料 / 平成23年度決算書

### 平成23年度決算書

【2012年8月27日 更新】

平成23年度小金井市一般会計特別会計歳入歳出決算書・その他付属書類の一部をご覧ください。

決算書は、会計課窓口で販売しています（3,300円/冊）。

- 各会計決算総括表
- 各会計決算総括表 PDF形式/173KB
- 歳入歳出決算書
- 歳入歳出決算書 PDF形式/236KB
- 実質収支に関する調書
- 実質収支に関する調書 PDF形式/88KB
- 款別決算概要表及び歳入歳出決算事項別明細書

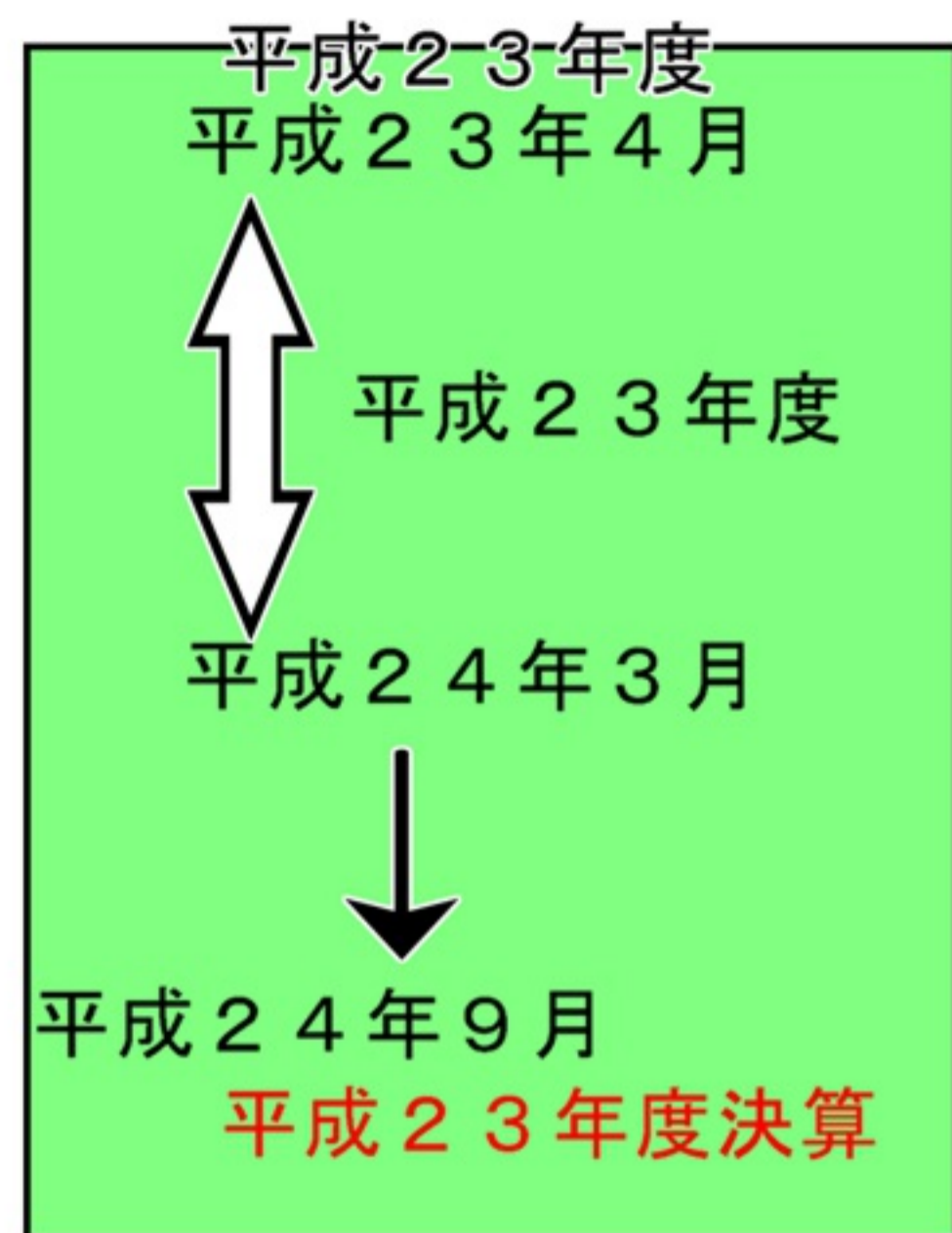
【一般会計】

- 款別決算概要表 PDF形式/16KB



今年度はHPでも公表されています。「小金井市 平成23年度決算」でググってみてね。

次ページ以降で紹介します。なお平成22年度決算と平成24年度予算も合わせて比べてみたわ。



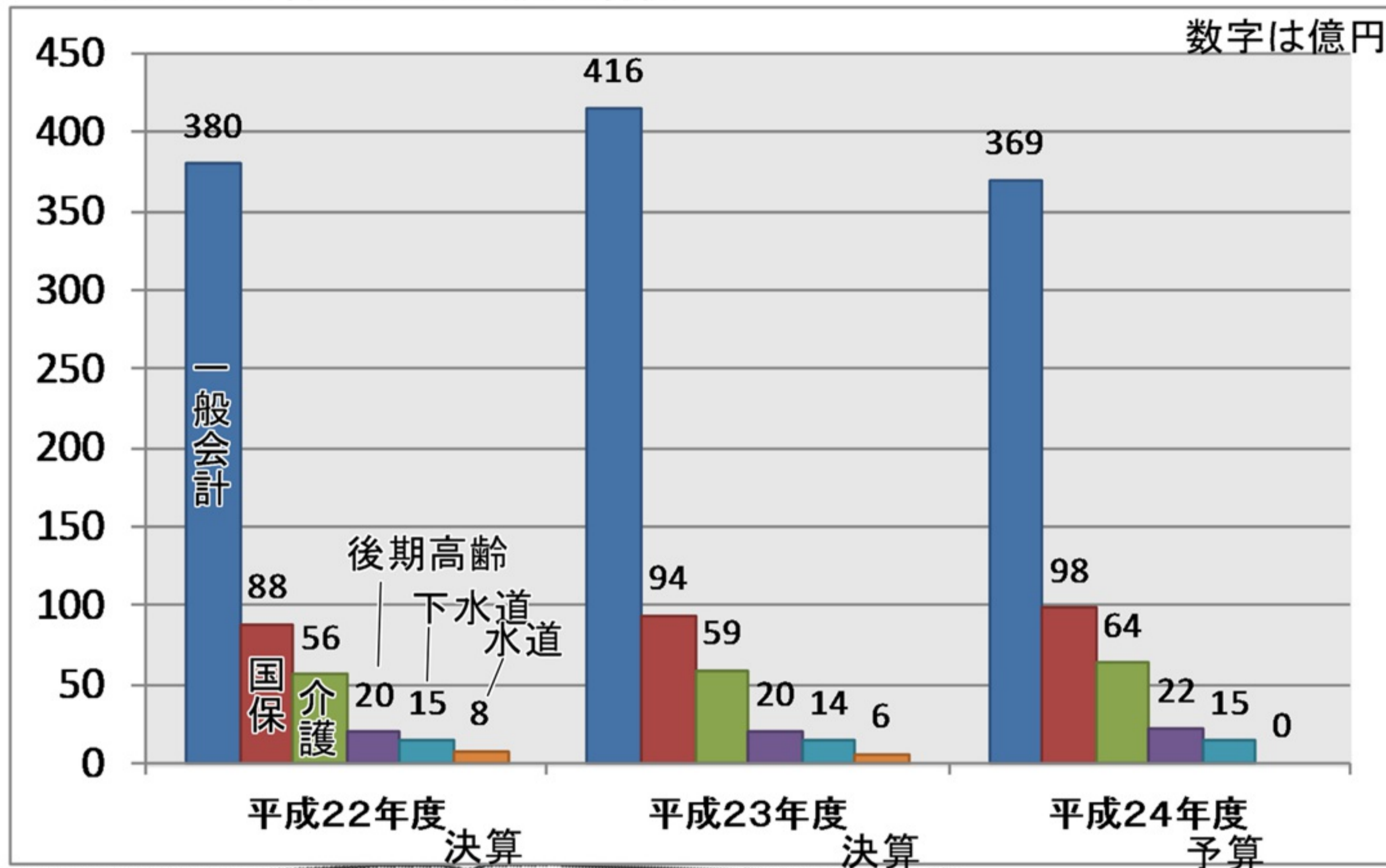
ちなみにこういうスケジュールなので、最新のものはお知らせについては平成24年度、決算については平成23年度です。

早速財政の概要についてババーンと説明しちゃおうわよ。





## 一般会計と特別会計の歳出規模



まずは、小金井市の財政規模がどれぐらいかをみてみましょう。平成23年度は一般会計が416億円、特別会計を合わせると約609億円、市民一人あたりにすると52万5千円ぐらい。

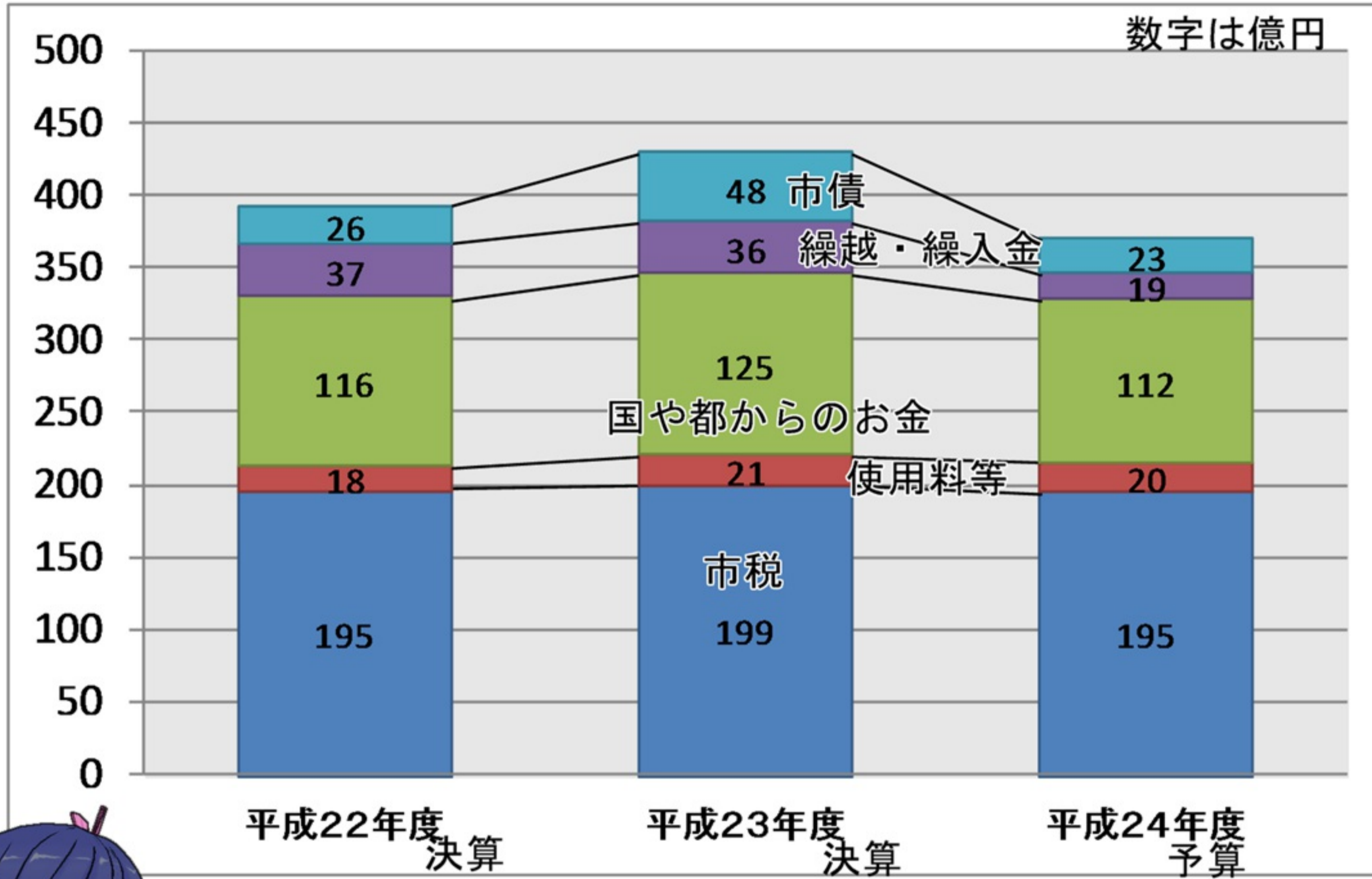


一般会計とは、特別会計以外の会計。通常市の会計といたら一般会計を指します。  
 国保：国民健康保険特別会計  
 会社員とか公務員以外の医療保険ね  
 介護：介護保険特別会計  
 後期高齢：後期高齢者医療特別会計  
 申し訳ないけど、それぞれの制度がわからない方はぐぐってみて。今日のところは  
 下水道：下水道特別会計  
 水道：受託水道特別会計  
 東京都から受託していたけど平成23年度で終了。

一般会計は増減ありますが、国民健康保険（国保）、介護保険、後期高齢者医療の特別会計は年々増える傾向にあります。



# 歳入（一般会計）



歳入のうち約半分を市税が占めています。



平成23年は市民交流センターの取得費があるため、その一部を国からの補助金と市債でまかっています。  
（それぞれ10億円と27億円）

出費が増えると、それをまかなう財源が必ずあるので、歳出が多いと歳入も多くなるの。

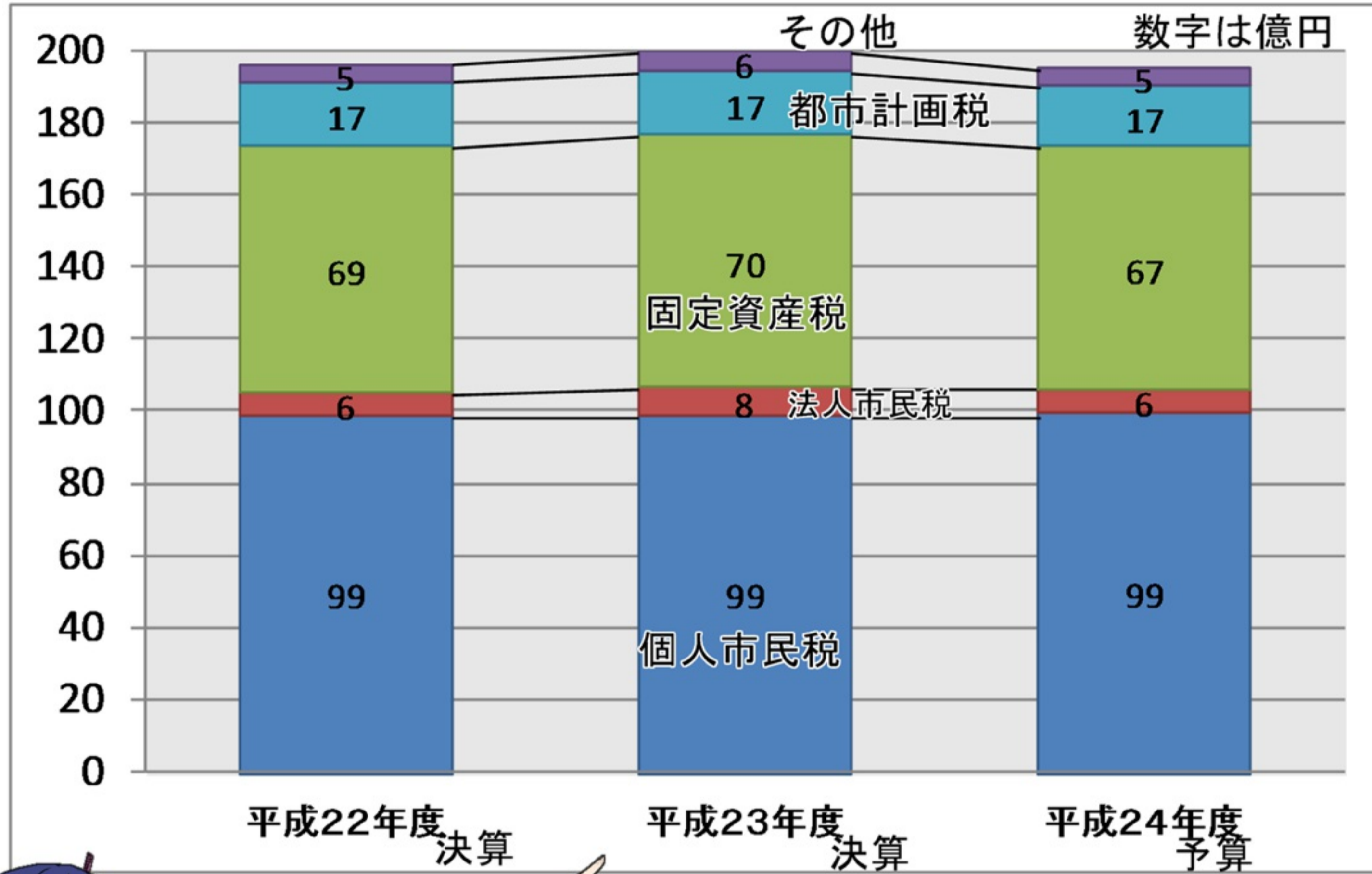
市民ひとりあたりの市税は約17.2万円。

市債というのは借金のこと。  
繰越金は、前の年度に残ったお金  
繰入金は貯金をおろした額。  
市の場合は、こういうのも歳入になるのね。





# 市税の内訳



市税の内訳はこんな感じ。  
 半分以上が給料などにかかる  
 個人の市民税。  
 1/3が固定資産税。



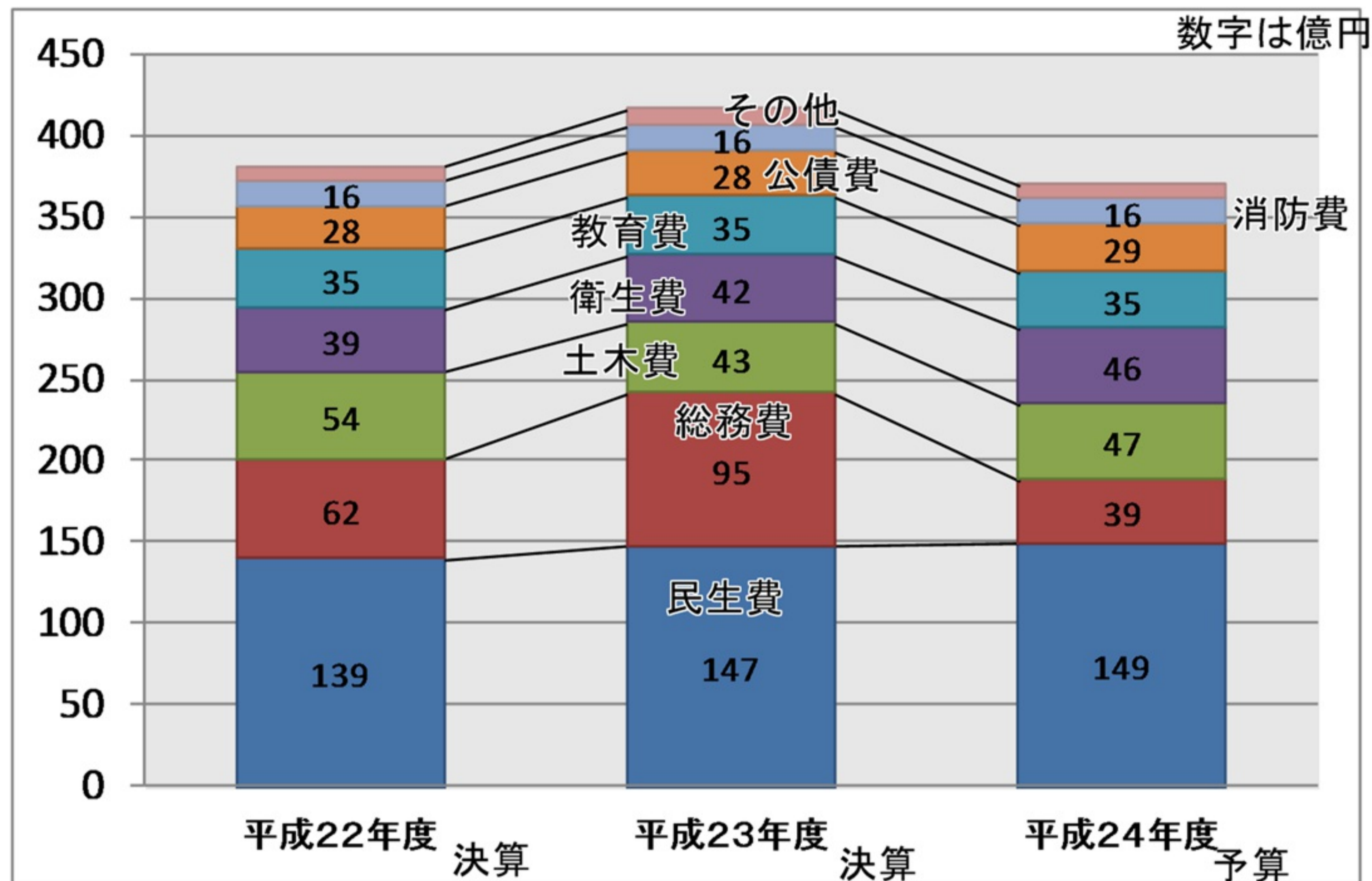
一人あたりの個人税民税は  
 多摩26市で5番目（平成22年度）  
 よ。合計では11位だけど。



法人市民税は、会社の利益にかかる税金。  
 固定資産税・都市計画税は、土地や建物にかかる税金。固定資産税は機械にもかかるわ。  
 その他は、軽自動車税と市たばこ税。



# 目的別歳出



一般会計の目的別歳出です。  
平成23年度に総務費が多いのは  
交流センターを42億円で買ったため



平成23年度の歳出合計は約415億円  
市民一人あたり35万8千円ぐらい

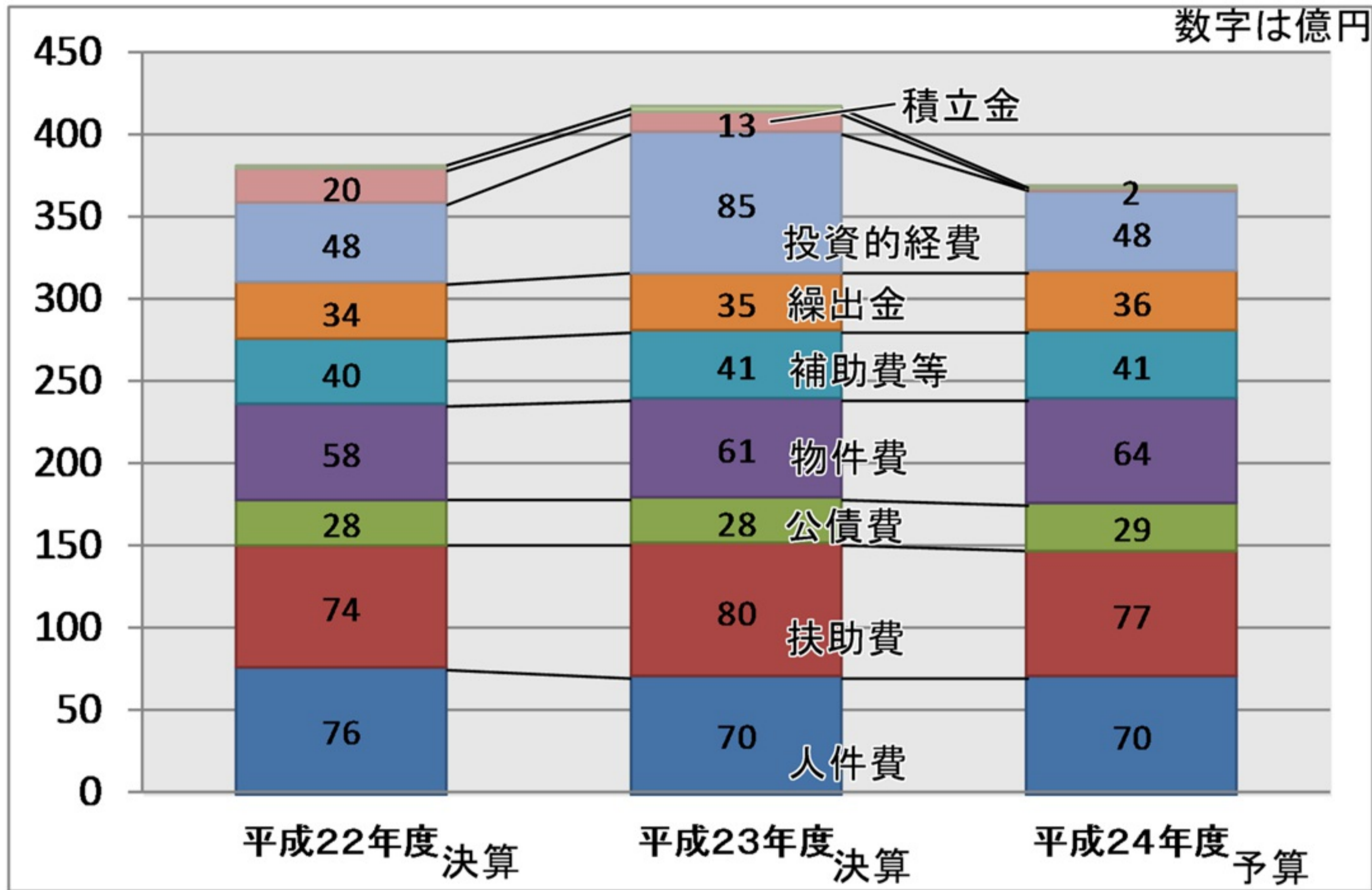
平成24年の総務費が少ないのは、  
基金への積立がほとんどないため。



- 民生費：福祉の費用
- 総務費：その他もろもろの費用
- 土木費：道路や都市開発の費用
- 衛生費：ごみ処理や保健衛生の費用
- 教育費：学校や社会教育の費用
- 公債費：借金の返済の費用
- 消防費：消防や防災の費用
- その他：議会費、商工費、農業費など



# 普通会計歳出（性質別）



性質別歳出でみるとこんな感じ。

目的別との違いは、例えば目的別は料理、性質別は材料。みたいなものかしら。



長年人件費の割合が一番多かったけど平成23年度に扶助費が一番になったわ。



人件費：職員の給与とか手当とか。  
 扶助費：主に福祉の対象者への給付の費用  
 公債費：借金返済の費用  
 物件費：委託費と物にかかる費用  
 補助費等：他の団体への現金の支出など  
 繰出金：特別会計への補助  
 投資的経費：公共施設などの建設費用  
 積立金：定期預金への預金のようなもの

今日のところはここまで！